



令和3年2月26日
山鳥坂ダム工事事務所

『第13回 山鳥坂ダム・鹿野川ダム環境検討委員会』 の開催について

山鳥坂ダム建設事業および鹿野川ダム改造事業の環境面について、助言をいただくことを目的に「山鳥坂ダム・鹿野川ダム環境検討委員会」を設置しています。

令和3年3月5日(金)に、「第13回 山鳥坂ダム・鹿野川ダム環境検討委員会」を開催するのでお知らせいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一般傍聴については中止としておりますが、取材については受け付けております。

(本施策は、四国圏広域地方計画の広域プロジェクト「NO. 1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災向上プロジェクト」の取り組みに該当します。)

問い合わせ先

国土交通省四国地方整備局

山鳥坂ダム工事事務所 TEL(0893)34-3000(代)

副所長 矢野 慎二(ヤノ シンジ)(内線:204)

◎調査設計課長 本山 健士(モトヤマ ケンシ)(内線:351)

◎委員会開催及び山鳥坂ダム建設事業に関する主な問い合わせ先

肱川ダム統合管理事務所 TEL(0893)72-1211(代)

副所長 坂本 雄彦(サカモト ユウヒコ)(内線:204)

肱川ダム統合管理事務所 鹿野川ダム管理支所 TEL(0893)34-2350(代)

○支所長 井上 博文(イノウエ ヒロフミ)(内線:6121)

○:鹿野川ダム改造事業に関する主な問い合わせ先

『第13回 山鳥坂ダム・鹿野川ダム環境検討委員会』の開催について

1. 開催日時及び場所

日 時: 令和3年3月5日(金) 13:00～15:00

場 所: ホテル メルパルク松山 松山市道後姫塚 123-2

会場案内図 別紙 1 のとおり

2. 概 要

国土交通省四国地方整備局山鳥坂ダム工事事務所は、山鳥坂ダム建設事業および鹿野川ダム改造事業の環境面について、専門家から技術的助言をいただくために「山鳥坂ダム・鹿野川ダム環境検討委員会」を設置しています。

この度、令和3年3月5日(金)に松山市内において、「第13回 山鳥坂ダム・鹿野川ダム環境検討委員会」を開催するものです。

3. 議事次第 別紙 2 のとおり

4. 委員名簿 別紙 3 のとおり

5. 委員会の傍聴

本委員会の一般傍聴については、中止とさせていただきます。後日、山鳥坂ダム工事事務所ホームページ上で、資料及び議事録を公開します。

記者席は確保していますが、委員会開始時刻の13時までにお越しいただき、受付を行ってください。(別紙 4 のとおり)

なお、希少動植物保護の観点から審議内容については一部非公開となりますので、その際は、委員長の指示にしたがって速やかに退室をお願いします。

第13回 山鳥坂ダム・鹿野川ダム環境検討委員会 会場案内図



ホテル メルパーク松山
松山市道後姫塚123-2
TEL: 089-945-6411
FAX: 089-945-6186

第 13 回 山鳥坂ダム・鹿野川ダム環境検討委員会

日 時：令和 3 年 3 月 5 日（金）13：00 ～ 15：00

場 所：メルパルク松山 1F『ボヌール』

〒790-0858 松山市道後姫塚 123-2 Tel 089-945-6411

【 議事次第 】

1. 開 会

2. 主催者挨拶

3. 検討委員の紹介

4. 委員長挨拶

5. 議 事

(1) 委員会の経緯について

(2) 山鳥坂ダム環境影響評価に基づく環境保全措置及び事後調査等について

①大気質(粉じん等)、騒音、振動

②水質

③-1. 鳥類 ③-2. 哺乳類 ③-3. 底生動物

④植物

⑤生態系

⑥廃棄物等(伐採木)

— 非 公 開 —

(3) 山鳥坂ダムにおける重要種のモニタリング結果について

(4) 鹿野川ダム改造に伴う環境保全措置等について

①大気質(粉じん等)、騒音、振動

②水質

③動物

④植物

⑤景観

⑥人と自然との触れ合い活動の場

⑦廃棄物等(伐採木)

(5) 今後の委員会の開催について

6. 閉 会

第 13 回 山鳥坂ダム・鹿野川ダム環境検討委員会

出席者名簿

1. 委員(※敬称略)

氏名	職名
石川 和男	松山東雲女子大学 名誉教授
大森 浩二	愛媛大学 教授
奥村 栄朗	森林総合研究所 研究専門員
酒井 雅博	元愛媛大学 教授
松井 宏光	松山東雲短期大学 名誉教授
三宅 洋	愛媛大学 准教授
森脇 亮	愛媛大学 教授

2. 事務局

国土交通省 四国地方整備局 山鳥坂ダム工事事務所
肱川ダム統合管理事務所

「山鳥坂ダム・鹿野川ダム環境検討委員会」

取材にあたってのお願い

(取 材)

- 1) 委員会を取材する方は、会議場入室前に、報道関係者受付をお願いします。
また、会議場内では、受付時に配布する「報道」と記載された名札を着用してください。
- 2) 新型コロナウイルス感染防止対策のため、ホテル館内、会場内でのマスク着用、会場入場時の手指の消毒をお願いいたします。また、接触確認アプリの活用をお願いいたします。
なお、受付にて検温を行い、37.5度以上の発熱が合った場合や、息苦しさ・強いだるさ、および軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある場合には、入場をお断りする場合があります。
- 3) 報道関係者は、会議場内において次の事項を遵守してください。
 - ① 報道関係者の方はあらかじめ用意された席で取材願います。
 - ② ビデオ・カメラ等の撮影位置は事務局席までとし、それより前列には立ち入らないでください。
 - ③ 委員会中、携帯電話は電源を切るかマナーモードに設定し、通話をご遠慮願います。
 - ④ 報道機関用の席でPC等の使用は、議事や他の傍聴者の迷惑にならない限り可能です。なお、取材に必要な電源は各社で用意してください。

(公開・公表)

- 4) 委員会の公開・資料公表等の取扱いについては、本委員会の中で審議されることとなっておりますが、以下のとおりお願いします。
 - ① 本委員会では、重要種の生息場所が特定できるような事項について審議することが予想されますので非公開資料【(3)山鳥坂ダムにおける重要種のモニタリング結果について】の審議の際には退室をお願いするとともに、これらは報道内容に含まないよう配慮をお願いします。
 - ② 本委員会の非公開の決議があったとき、又は、委員長が退場を指示した時は、速やかに退場してください。